

思春期保健ネットワーク Vol. 18

ニュースレター

令和3年 1月号



発行：八千代市思春期保健ネットワーク会議
問い合わせ：事務局（八千代市母子保健課）
☎047-486-7250

思春期保健ネットワーク会議を開催

平成18年8月、「10代の生と性」の課題に取り組むため、小さな一歩を歩み始めた「八千代市思春期保健ネットワーク会議」も13年を経過しました。性教育を単なる「性知識の伝達」だけに終わらせることなく、広く「人間教育」として捉え、八千代市の子どもたちが、自己を肯定し、仲間やパートナーを大切に、思いやりを持った素敵な大人に成長してくれることを願い、これまで活動してきました。

発足当初と比べ、子どもを取り巻く環境や親子関係が著しく変化しているため、令和元年度は改めて【思春期保健の現状と課題】を話し合う会議を4回開催しました。市内の産婦人科医、小児科医、大学教授など、医療・教育分野、保護者の代表など様々な立場の委員が実践活動を報告し、思春期保健について協議しました。

< 柳堀会長の実践報告 >



産婦人科医として、市内の中学生を対象にボランティアで講演されています。インターネットには性に関する情報があふれていますが、医学的な視点から正しい知識を得られる貴重な機会となっています。生理痛の薬は痛くなったらすぐ使う、緊急避妊薬は72時間以内に1回内服するといった具体的な対処方法を知ることができました。性教育を長年実践されている会長でも、家庭での性教育は難しいと話され、様々な場面で性教育を行うことが大切と実感しました。

< 鶴岡委員の実践報告 >



助産師として、幼児期から思春期、さらには更年期まで幅広く性について講演されています。手作りの模型や明るい話術で楽しく学ぶことができました。正しい性器の洗いは親にも子にも必要な知識。からだを知ることが健康を守るにつながります。ホルモン分泌の男女の違いから思春期を見ると、自分とは異なる性別の子どもを理解することができました。人には聞けない性に関する親の悩みを解決する内容で、保護者団体から講演依頼が多いのも納得でした。

思春期保健ネットワーク 13年間の活動



学校での実践を支援！！

八千代市オリジナル教材の作成

市内の中学校保健体育科教諭や養護教諭を中心に、中学3年生で学習する「性感染症予防・エイズ予防」の授業で活用できるようなオリジナル教材を作成しました。

教材外部講師リストの作成

小中学校の「生と性の教育」実践に役立てていただくために、八千代市母子保健課や紙面調査で賛同いただけた小中学校が所有している教材等の情報をリスト化し、学校間でやり取りできるようにしました。

子どもへの正しい知識の提供！！

中学生向けリーフレットの作成

性に関する情報がインターネット上で氾濫している昨今、子ども達に正しい情報を得られる機関や相談先を紹介したいという思いで作成しました。

大人の学ぶを支援！！

ニュースレターの発行

保護者や教員の皆様に、思春期保健シンポジウムの様子や思春期保健ネットワーク会議の取組を伝えることを目的にニュースレターを発行しています。

※バックナンバーは下記の八千代市HPからダウンロードできます

思春期保健シンポジウムの開催

- 第1回「家庭・学校・地域でできることを考える」
- 第2回「家庭・学校・地域でできること」
- 第3回「市内校の実践から学ぶ思春期の子どもたちへの性と生の教育」
- 第4回「私達、大人が子どもたちにできること」
- 第5回「家庭・学校・地域のつながり、そして、親子のコミュニケーション」
- 第6回「親になった今こそ受けて！いのちの授業 ～思春期向け、生と性の教育～」
- 第7回「オヤジも聞こう！ バック・トゥ・ザ・思春期 ～男子のこころとからだ～」
- 第8回「目からウロコなリアルボイス～当事者の声から知る思春期の生と性～」
- 第9回「知っておこう！イマドキ思春期と性教育」
- 第10回「あなたのお子さんが被害者かも…～スマホの恐さについて～」
- 第11回「大切ないのち・大切なからだ～小・中学生に伝えている生と性の健康講座を保護者にも伝えたい～」
- 第12回「『性別で見る多様性と人権』～見えない／見せないしんどさを抱える子どもに向き合う～」



やっち

八千代市役所ホームページ「ホーム」→「くらしの情報」→「妊娠・出産・子育て」→
「母子保健課」→「組織活動」→八千代市思春期保健ネットワーク会議